11 住み続けられるまちづくりを

城山西小学校
５年
Ｒ６．５～１月
総合的な学習の時間

地球も伝統も守り伝えるふるさとの味

　野菜くずから堆肥作りを行い，その土を使って野菜を作り，給食で食する。

　地域に伝わる料理への関心を高めるよう講師の方に教えていただきながら，しもつかれを作り食する。

ねらい

　食料自給率の低さや地産地消の重要性，食品ロスや環境問題等，他教科で学んだことを生かし，地球や生態系，食や農の持続可能性に目を向けるとともに，自分たちにできることを考えさせる。

日程と内容

５月
・外部講師　渡邉さんをお迎えし，野菜くずから堆肥の作り方を教えてもらい，体験した。
・地産地消の意味を話し合った。
・野菜くずを分解した微生物の姿を見たり触ったりして確認した。
・普段食べているものがどこからきたものか話し合った。

６月
・野菜の種や苗を植えた。
（ベビーリーフ・ハツカダイコン・ブロッコリー）

10・11 月
・除草と野菜の成育状況の確認をした。
・収穫した野菜を給食で食した。

１月
・しもつかれの作り方を学んだ。